

ユニークな
地質系博物館
(15)

福島県立博物館

竹谷 陽二郎¹⁾

福島県立博物館は1986年(昭和61年)に会津若松市にオープンし、今年で開館10年目を迎えます。本博物館は必ずしも地質系と呼べる博物館ではありませんが、貴重な化石標本なども収蔵しており、ここに紹介させていただこうと思います。

本博物館は県立クラスでは国内でも最大規模の総合博物館で、展示品の総数は実物を中心に約4000点を数え、入館者は既に200万人を超えています。史跡若松城(鶴ヶ城)跡のすぐそばにあり、白壁、黒屋根の蔵のイメージをもつ落ち着いた雰囲気建物です(写真1)。1988年(昭和63年)6月に、ここで日本古生物学会例会が開催されましたので、ご存知の方が多いかもしれません。学芸員は20人、そのうちの3人が地学専攻の学芸員です。

福島県は面積が広く、先第三系は棚倉破碎帯と畑川破碎帯を境にして、西から足尾帯・阿武隈帯・阿武隈東縁帯の3つの帯にまたがっています。これら各帯で岩石や化石の内容・種類が大きく異なります。

また、新第三系では広く海成層が発達し、会津地域を中心とした県の西部で厚いグリーンタフ堆積物を形成しています。この時代の地層からは当時の海洋環境の変遷を示す豊富な海生化石が産します。

第四系では、奥羽脊梁山脈を構成する磐梯山や安達太良山などの陸上火山噴出物があるほか、氷期の気候変動を物語る植物遺体が多数見つかっています。

博物館ではこれらの化石や岩石を系統的に収集・展示しています。主なものとして、収蔵品では先年亡くなられた鈴木敬治福島大学名誉教授から寄贈された、およそ3万点にのぼる新生代植物化石コレクションがあります。地学展示は「県土の形成」というテーマで、福島県の大地の成り立ちを化石や岩石をとおして組み立てています。展示品では、いわき地域の白亜紀層から産出したフタバスズキリュウの全身骨格模型(写真2)や、福島市北方の梁川町の中新統より発見されたパレオパラドキシア化石の産状(写

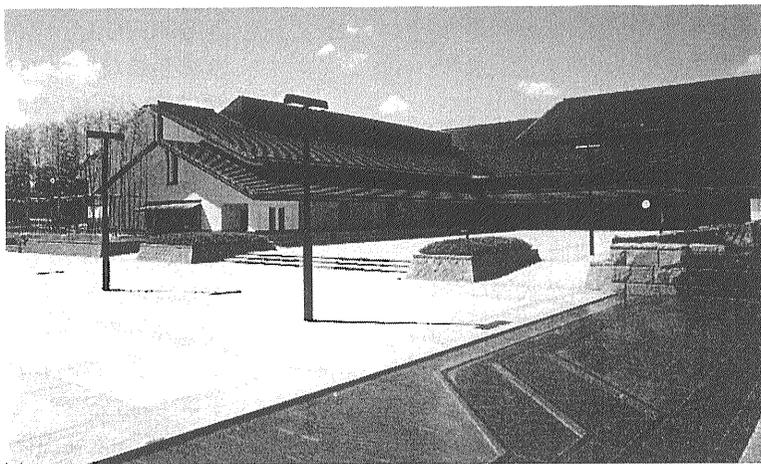


写真1 福島県立博物館の外観

1) 福島県立博物館
〒965 会津若松市城東町1-25

キーワード：福島県立博物館、鈴木敬治コレクション、フタバスズキリュウ、パレオパラドキシア(梁川標本)

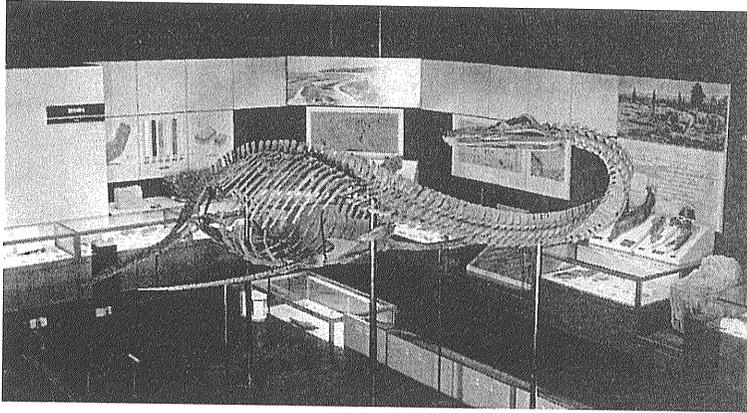


写真2 フタバスズキリュウの全身骨格模型

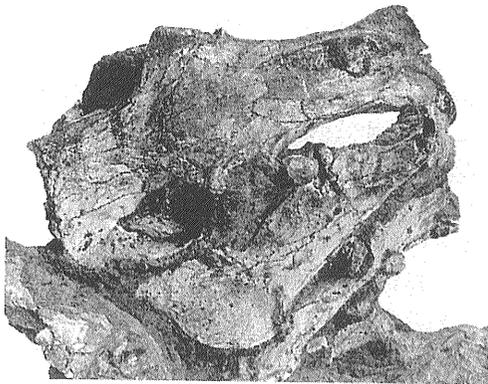


写真3 パレオパラドキシア(梁川標本)頭部の産状

真3)が特に目を引きます。このパレオパラドキシア(梁川標本)は、全身の骨格が大部分揃っていて、とりわけ頭部がほぼ完全な保存状態をもった世界的に重要な標本です。数年後には全身が立ち上がった姿でお目見えするでしょう。

博物館ではユニークなテーマをもった企画展を年4回開催しています。そのうち地学分野は年1回(正確には5年に4回)開かれます。今年の夏は自然災害に関する企画展「地震 火山 津波」を開催します。最近日本各地で頻発している自然災害について、その被害状況・メカニズム・社会生活への影響などを示し、防災意識の向上を意図するものです。展示の概要は第1表のとおりです。多くの方に是非ご覧いただきたいと願っています。

福島県立博物館

〒965 福島県会津若松市城東町1-25

Tel 0242-28-6000

第1表 福島県立博物館夏の企画展

「地震 火山 津波 —自然災害を科学する—」

- 会期：1996年7月20日(土)～9月16日(月)
- テーマ構成：1地震 2TSUNAMI 3火山 4大風・強風
5地すべり・崖くずれ・土石流 6防災用品
- 観覧料：一般・大学生500円(400円)、高校生300円(220円)
小・中学生200円(130円)、()内は20名以上の団体料金、いずれも常設展観覧料を含む。
- 記念講演会
演題：「雲仙普賢岳の噴火に学ぶ」
講師：前島原市長 鐘ヶ江管一氏
日時：1996年8月25日(日)午後1時30分～
会場：福島県立博物館講堂(入場無料)

開館時間：午前9時30分～午後5時

(最終入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(ただし祝日の場合は開館)

祝日の翌日(ただし土・日は開館)、

年未年始(12月28日～1月4日)、

その他、館内の消毒作業などのため臨時に休館することがある。

観覧料：一般・大学生250円(200円)、高校生150円(120円)、小・中学生100円(80円)、()内は20名以上の団体料金、企画展観覧料は別に定める。

交通：JR会津若松駅より約3km、市内バス利用の場合、市内1コース「県立病院前」下車徒歩5分、鶴ヶ城経由東山行または鶴ヶ城経由飯盛山行「県立博物館前」下車徒歩3分。

TAKETANI Yojiro (1996) : Geological museums in Japan 15, "Fukushima Museum".

<受付：1996年5月7日>